

岩手県立一関工業高校生徒が現場研修

岩手県立一関工業高等学校土木学科1年生の皆さんが、復興道路である「三陸沿岸道路 吉浜道路」にて現場研修を実施します。

本研修は、専門分野の学習を目的として、復興道路の施工状況について視察を行うものです。

1. 日 時 平成26年6月5日(木) 13:00～15:00
2. 視察箇所 吉浜道路
3. 参加者 岩手県立一関工業高等学校 1年生 40名 先生3名 計 43名
4. 集合場所 国道45号吉浜道路 上部工工事現場事務所(大船渡市三陸町吉浜)
※集合場所は別紙-1参照

【吉浜道路の概要】

吉浜道路は、東日本大震災からの早期復興リーディングプロジェクトとなる復興道路「三陸沿岸道路」の一部で、国道45号羅生峠の急勾配・急カーブ及び隘路の解消による地域間交流の拡大、地域経済の活性化、安全確実な交通の確保等を目的とした、大船渡市三陸町越喜来から吉浜を結ぶ3.6kmの自動車専用道路です。

吉浜道路の特徴は、3.6km延長のうち2.6kmがトンネルと高架橋により構成されているところです。

平成19年度に事業化され、平成27年度の開通を目標に現在整備を進めています。

※吉浜道路の主な整備効果【別紙-2参照】

【発表記者會】

岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 南三陸国道事務所

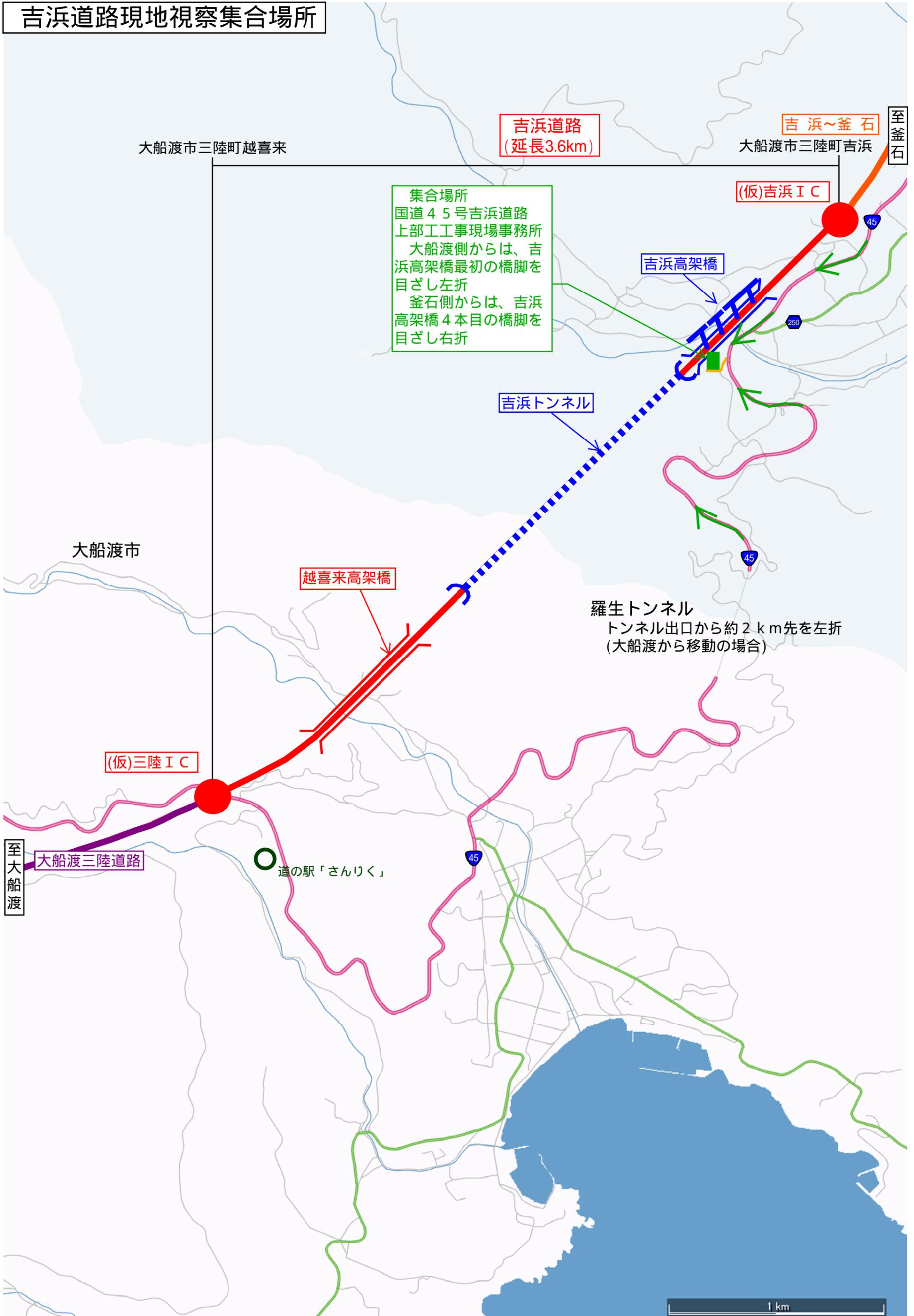
〒026-0301 釜石市鶴住居町第7地割13-7 (代表)電話:0193-28-4731

副所長 山口 満(内線204)

建設専門官 大沢 昭弘(内線514)

南三陸国道事務所のホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html>

吉浜道路現地視察集合場所



効果①：緊急輸送道路の信頼性確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路で通行止が発生
- 吉浜道路は、大規模震災時においても寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成



資料：通行止め実績（南三陸国道事務所・岩手県提供データ）H1.4.1～H24.3.31

▼写真①（釜石市平田地区）



▼写真②（釜石市唐丹地区）



効果②：迅速な救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 県立釜石病院の帝王切開などのリスクを伴う出産については、県立大船渡病院まで搬送する連携システムを構築しているが、国道45号には急カーブ等の救急搬送時の課題が多く存在
- 吉浜道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼釜石市からの救急搬送先



▼釜石病院から大船渡病院までの線形不良箇所（国道45号）

急カーブ箇所
(R < 150m)
46箇所



急勾配区間
(I > 5%)
約11,300m

▼産婦人科医療の地域機能分担イメージ

県立大船渡病院

県立釜石病院

地域周産
母子医療
センター

救急搬送

院内助産
システム

帝王切開等
のリスクを伴
う出産は、
大船渡病院
へ



※大船渡病院HPより

